

3.3 新世代ワイヤレス研究センター

研究センター長 門脇直人

研究センター概要

研究センターでは、研究開発業務の支援に当たる推進室、研究テーマに対応した三つの研究グループ（ユビキタスマバイルグループ、宇宙通信ネットワークグループ、医療支援ICTグループ）の下、ワイヤレス分野の総合的な研究開発の推進を図っている。

平成20年度は第2期中期計画の3年目に当たり、前年度までの要素的研究成果をベースに、体系的な研究成果につながる研究開発を行った。また、各種イベントの開催、視察対応等により研究成果の対外的な情報発信に努めるとともに、ワイヤレス分野の専門的な知見に基づき、総務省の施策等に対する貢献を行った。

主な記事

(1) 研究開発の推進

研究センターにおいては、中期計画において以下の研究開発項目を設定し、研究開発を進めている。

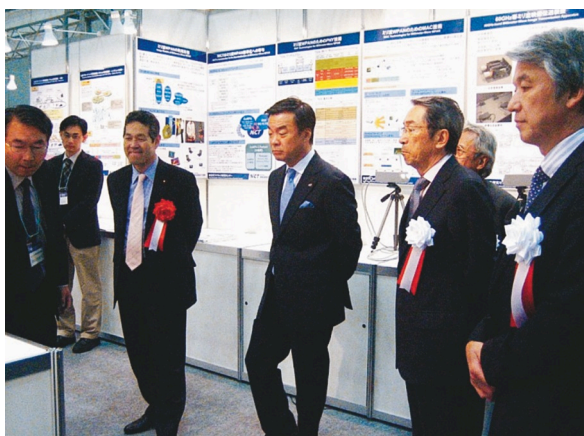
- ① 高信頼性可変無線通信技術の研究開発
- ② シームレスネットワーク連携技術の研究開発
- ③ 広域無線通信技術の研究開発
- ④ 生体内外無線通信技術の研究開発
- ⑤ 高度衛星通信技術に関する研究開発

研究成果の詳細は各グループの報告を参照されたい。

また、国内外の研究機関、大学等との連携により一昨年度に立ち上げたミリ波実用化コンソーシアム、医療ICTコンソーシアムを運営し、それぞれの分野における技術開発の推進と標準化活動等を積極的に実施した。ミリ波コンソーシアムが提案した規格が国際標準に採用されることとなったほか、コグニティブ無線アーキテクチャについても国際標準として採択されるなど、着実な成果を収めつつある。

(2) 各種イベントの開催

WPMC2008（9月8～11日、フィンランド）、AP-NeGeMo/AP-WBF（1月12～16日、マレーシア・ヴェトナム・タイ）等の国際イベント、WTP（ワイヤレステクノロジーパーク）2008（5月13・14日）、周波数資源開発シンポジウム2008（6月6日）、WINDSシンポジウム（2月24日）等の国内イベントを主催することにより、センターの研究開発成果の積極的な情報発信を行っている。



WTP2008 NICTブースご視察の佐藤総務副大臣（当時）



周波数資源開発シンポジウム2008の様様



WPMC2008の様様



WINDS国際シンポジウム2009の様様

(3) 情報通信政策等への貢献

総務省の情報通信審議会、研究会、懇談会等に対して専門的知見に基づく積極的な寄与を行うなど、総務省施策に貢献した。その他、「次世代安心・安全ICTフォーラム」(事務局：SCAT)、ワイヤレス国際普及部会(事務局：ARIB)、高度無線通信研究会(事務局：ARIB)等のワイヤレス分野の会合に参加し、専門性に基づく積極的な貢献を図っている。

(4) 視察、見学対応

総合科学技術会議議員、ハンガリー共和国科学政策・研究開発担当無任所大臣をはじめとした年間約50件程度の視察、見学対応等により、センター活動の積極的な紹介に努めている。



奥村直樹 総合科学技術会議議員ご視察
(平成20年8月4日)



モルナール・カロイ ハンガリー共和国
科学政策・研究開発担当無任所大臣ご視察
(平成20年10月10日)